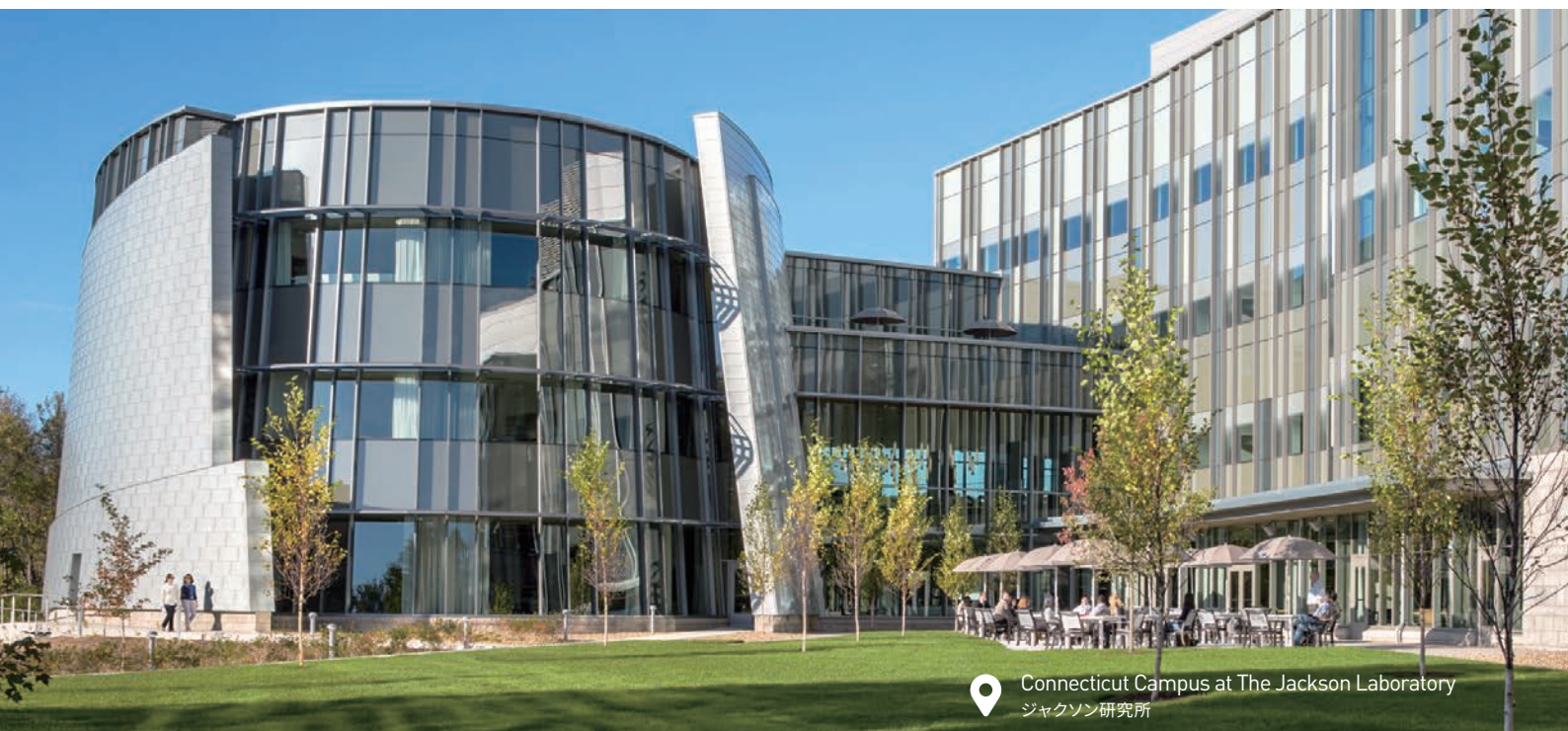


Research Models Catalog

国内生産実験動物



Connecticut Campus at The Jackson Laboratory
ジャクソン研究所

MISSION

We discover precise genomic solutions for disease and empower the global biomedical community in our shared quest to improve human health.

WELCOME TO JAX MOUSE SEARCH

国内生産実験動物にご自身の研究対象となる動物が見つからない場合には、ぜひ、このサイトをご利用ください。JAX Mouse Searchでは、取り扱いをしている**14,000を超える系統**の中から系統名や変異遺伝子名等による絞り込み検索が可能で、系統情報に加えて先行研究もご覧いただけます。ぜひ、気になるマウスを探してみてください。



<https://mice.jax.org/>

治療領域

私たちは、創薬から医薬品開発までのプロセスを簡素化することに特化しています。薬理的有効性と最先端の安全性試験に重点を置き、前臨床研究プロセスを合理化し、あらゆる段階で効率性と信頼性を確保します。



Research Models

リサーチモデル事業

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンは遺伝学的・微生物学的に統御された
高品質な実験動物を安定的に供給しています

- 国内生産実験動物(マウス / ラット)
- 輸入実験動物(マウス / ラット等)

その他以下のサービスも提供しています

- 手術動物(カニュレーション動物の作製 / 外科的処置によるモデル動物の作製、マウス / ラット)
- 生体試料(血液 / 臓器 / 各種生体試料等)、ブタ皮膚(Yucatan Micro Pig Skin set)
- 微生物モニタリングサービス
- 遺伝子改変モデル作製 / 受託繁殖サービス
- 受託試験サービス(神経変性疾患、がん、自己免疫疾患等)

Contact JAX in Japan

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

The Jackson Laboratory Japan, Inc.

- ホームページ
www.jax.or.jp



- 一般的なお問い合わせ
ask@jax.or.jp



オーダープロセッシング センター(受注窓口)

TEL : 045-474-9350
FAX : 045-474-9351
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-6
イノテックビル 11 階

- AnyTime(国内生産実験動物注文 / 生体試料見積依頼サイト)
anytime.jax.or.jp



- サイエнтиフィックサポート
micetech@jax.or.jp



リージョンセールス部 東日本グループ

TEL : 045-474-9340
FAX : 045-474-9341
〒222-0033
神奈川県横浜市港北区新横浜 3-17-6
イノテックビル 11 階

リージョンセールス部 西日本グループ

TEL : 072-686-6651
FAX : 072-686-6652
〒569-0803
大阪府高槻市高槻町 5-25
北本ビル 1 階 C 号室



ご発注にあたって

- P.05 国内生産実験動物 発注方法
特別規格、追加料金
動物お受け取り時の取り扱いについてのお願い

遺伝学的／微生物学的統御について

- P.06 微生物学的統御(微生物モニタリング)
遺伝学的統御(遺伝管理システム)
- P.07 マウス・ラット名称について

国内生産実験動物

Outbred マウス

- P.08 【ICR】 Crl: CD1(ICR)

Inbred(近交系)マウス

- P.08 【B6J】 C57BL/6J
【B6NJ】 C57BL/6NJ
- P.09 【B6 Albino】 B6N-*Tyr^{c-Brd}* /BrdCrCrl
【BALB/cByJ】 BALB/cByJ
【BALB/cJ】 BALB/cJ
- P.10 【C3H】 C3H/HeNCrl
【CBA】 CBA/J
【DBA/1】 DBA/1JNCrlj
- P.11 【DBA/2】 DBA/2NCrl
【NC】 NC/NgaTndCrlj
【SJL】 SJL/J

Preconditioning Models マウス

- P.12 【B6J Aged】 C57BL/6J-Aged
【B6J DIO】 C57BL/6J-DIO
【B6J NASH】 C57BL/6J-NASH

F1 Hybrid マウス

- P.13 【B6C3F1】 B6C3F1/Crl
【B6D2F1】 B6D2F1/Crl

Disease Models(病態モデル)マウス

- P.14 【ob】 B6.Cg-*Lep^{ob}*/J
【db】 BKS.Cg-*Dock7^{m+/+} / Lepr^{db}*/J



Immunodeficient Models(免疫不全モデル)マウス

- P.15 【BALB/c-nu】 CAnN.Cg-*Foxn1^{nu}* /CrlCrlj
【ICR-nu】 Crlj:CD1-*Foxn1^{nu}*
【C.B-17 SCID】 CB17/Icr-*Prkdc^{scid}* /CrlCrlj
- P.16 【SHO】 Crlj:SHO-*Prkdc^{scid} Hr^{hr}*
【SCID Beige】 CB17.Cg-*Prkdc^{scid} Lyst^{bg-J}* /CrlCrlj
【NOD SCID】 NOD.Cg-*Prkdc^{scid}* /J

NSG / NSG variants マウス

- P.17 【NSG】 NOD.Cg-*Prkdc^{scid} Il2rg^{tm1Wjl}* /SzJ
【NSG-MHC I/II DKO】 NOD.Cg-*Prkdc^{scid} H2-K1^{b-tm1Bpe} H2-Ab1^{gT-em1Mvw} H2-D1^{b-tm1Bpe} Il2rg^{tm1Wjl}* /SzJ
- Immunodeficient Models(免疫不全モデル)マウス一覧

Outbredラット

- P.18 【CD(SD)】 Crl:CD(SD)
【Wistar】 Crlj:WI

Inbred(近交系)ラット

- P.19 【BN】 BN/CrlCrlj
【F344】 F344/DuCrCrlj
【LEW】 LEW/CrlCrlj
- P.20 【PCK】 PCK/CrljCrl-*Pkhd1^{pck}* /CrlCrlj
【WKY】 WKY/NCrlCrlj
- P.21 系統別出荷体重基準表

その他商材

- P.24 手術動物(カニューレーション動物の作製 / 外科的処置によるモデル動物の作製、マウス / ラット)
- P.25 生体試料(血液 / 臓器 / 各種生体試料等)
ブタ皮膚(Yucatan Micro Pig Skin set)

使用条件等

- P.26 製品／サービスのご利用にあたって
販売代理店
- P.27 Scientific Support / JAX in Japan 公式X / メールニュース

ご発注にあたって

国内生産実験動物 発注方法

- ① ご所属 ② ご発注者の名前と連絡先 (TEL/FAX) ③ 動物の系統名 ④ 性別 (♂♀) ⑤ 週齢 ⑥ 匹数
⑦ ご希望の納期 ⑧ その他指定事項 (納品先等) を明確にご連絡ください。

特別規格、追加料金

退役動物 (リタイア)	繁殖に利用した動物で月齢不詳のものです。ファイティング等により傷がある場合がございます。 〔RETIRE〕
月齢指定退役動物 (月齢指定)	退役動物で、納品時の月齢を指定したものです。系統や性別により退役月齢が異なります。 ご希望の納品時月齢により、退役月齢からの飼育料を加算いたします。〔RETIRE, S〕
妊娠動物	交配日は確認されておらず、目視の腹部膨張により妊娠を確認した動物です。〔PREG〕
交配日指定妊娠 動物	同居翌日以降にプラグ (膣栓) を確認した動物です。プラグ確認日を妊娠 0 日としております。 プラグ確認 14 日未満の動物は外観からの妊娠判断が難しく、不妊の可能性がございますので、 試験使用匹数に余裕を持ってご発注いただくか、妊娠 14 日目以降の動物のご購入をお勧めいた します。〔T, PREG〕
哺育動物	出荷時 20 日齢未満の哺育動物です。哺育用親と共に出荷します。系統により、1 腹当たりの 匹数が異なります。14 日齢未満の動物は配送時の食殺のリスクが高まります。〔LACT〕
日齢指定	日齢指定 (出生日が 6 日幅以内) の場合、以下の定額を加算いたします。対応可能系統は お問い合わせください。 ● マウス：週齢動物価格 + 200 円 (9 週齢以上は + 400 円) ● ラット：週齢動物価格 + 400 円 (9 週齢以上は + 800 円)
少数注文の 輸送箱費用	少数のご注文に該当する場合、「箱代」として別途 1,500 円 (消費税別) を申し受けます。 ● マウス：全週齢 9 匹以下 ● ラット：3 ~ 15 週齢 3 匹以下 適用除外規格：妊娠動物等の特殊動物、db、ob、NOD SCID、NSG、B6J DIO、B6J NASH、NSG-MHC I / II DKO
追加配送費	配送地域によっては、商品価格以外に別途配送費を申し受ける場合がございます。
航空便輸送費用	航空便で輸送する場合、航空輸送費として以下を申し受けます。 ● マウス：1,200 円 / 箱 (消費税別) ● ラット：2,000 円 / 箱 (消費税別)
特殊動物 (RETIRE、PREG、LACT など)	個体識別用に耳パンチされた動物が含まれる可能性がございます。

動物お受け取り時の取り扱いについてのお願い

動物へのストレス軽減と温度環境のコントロールに努めてお届けしておりますが、動物の健康維持のためにできる限り速やかに空調室内のケージに収容の上、給水ならびに給餌をお願いいたします。

遺伝学的 / 微生物学的統御について

Health Profile

微生物学的統御（微生物モニタリング）

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンのモニタリングセンターは、供給する国内生産実験動物の微生物モニタリングをチャールス・リバー社の検査手法 / 技術を移転し、行っています。

国内生産実験動物は全て SPF/VAF（Specific Pathogen Free / Virus Antibody Free）です。

モニタリングレポートは、ホームページをご参照いただくか、弊社窓口（ask@jax.or.jp）までお問い合わせください。

※ モニタリングレポートを毎月 メールでお届けすることも可能です。

Genetic Management

遺伝学的統御（遺伝管理システム）

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンは、遺伝的乖離を最小限に抑えた動物をお客様へ供給するために2つの特別な遺伝管理システムを導入しています。

各システムの詳細は、ホームページをご参照いただくか、弊社窓口（ask@jax.or.jp）までお問い合わせください。

Genetic Stability Program (GSP)

ジャクソン研究所で保管され、定期的に復元される基礎コロニー（Foundation stocks）から定期的に親だねの供給を受けることで、ジャクソン研究所のコロニーとの遺伝的乖離を最小限に抑えています。

※ GSP 適用系統は、各系統の紹介ページにその旨が表記されています。
 ※なお、全てのJAX®MicelはGSP適用外の系統も含めて定期的にジャクソン研究所より親だねの供給を受けております。



International Genetic Standardization Program (IGS プログラム)

Outbred では、チャールス・リバー社の基礎コロニー（Foundation コロニー）から各コロニーへの親だねの供給（Forward migration）と、各コロニーから Foundation コロニーへの里帰り（Backward migration）を行うことで、遺伝的にひとつの大きな Outbred コロニーを構築しています。

Inbred（近交系）では、定期的に Foundation コロニーから各コロニーへの親だねを供給することで、Foundation コロニーを頂点としたピラミッド型の Inbred コロニーを構築しています。

※ IGS Program 適用系統は、各系統の紹介ページにその旨が表記されています。



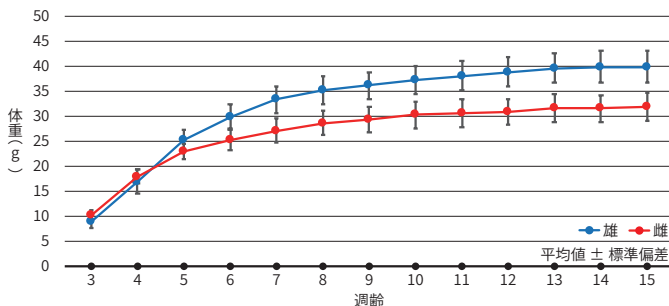
国内生産実験動物

Outbred マウス

Crl:CD1(ICR)

一般名：ICR

IGS 適用系統



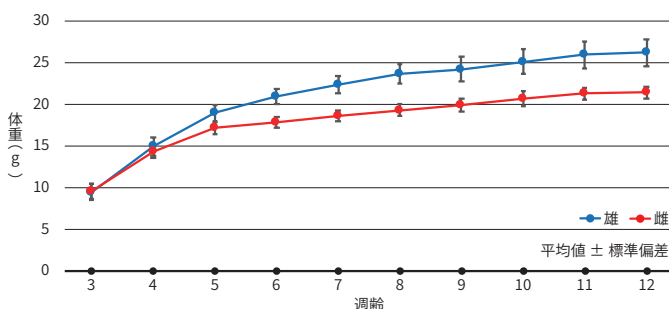
毛色	Albino	規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE、S、PREG、T、PREG、LACT
由来	Swiss mice を起源とするアウトブリード系統。Institute of Cancer Research にて「ICR」として確立された後、1959年にチャールス・リバー社(米国)に導入された。		
特徴	代表的な Outbred 系統。繁殖力が高く温和な性質をもち、毒性・安全性試験や薬効評価に世界的に広く用いられる。雌は愛情深く子育てが得意なため、胚移植時の仮親や里親としても優れている。		

Inbred (近交系) マウス

C57BL/6J

一般名：B6J

JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:000664

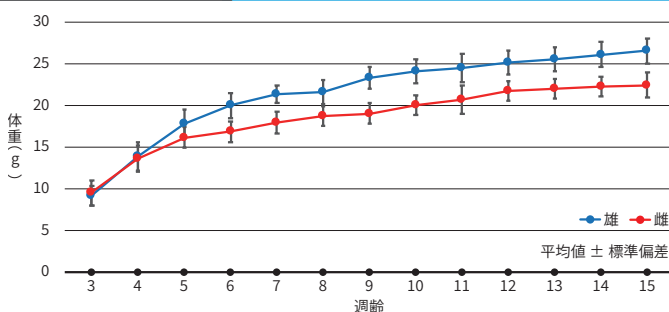


毛色	Black	H2	b
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE、S、PREG、T、PREG、LACT		
由来	1921年にC. C. Littleによって樹立されたC57BL系統群のうち、ライン6に由来する系統がC57BL/6として1948年にジャクソン研究所へ導入された。以降同研究所にて維持されている系統が、C57BL/6Jである。		
特徴	黒毛の近交系マウスC57BL/6の中でも、最も代表的な系統。全ゲノム解析が最初に行われた系統であり、遺伝子改変マウスの背景系統としても広く用いられる。代表的な遺伝子変異として、代謝異常にかかわる <i>Mnt</i> 遺伝子欠損変異や、加齢性難聴の発症に関与する <i>Cdh23^{dl1}</i> アレルを持つ。		

C57BL/6NJ

一般名：B6NJ

JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:005304

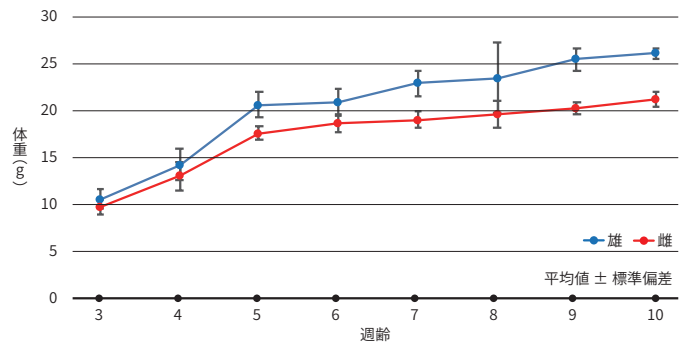


毛色	Black	H2	b
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE、S、PREG、TP、LACT		
由来	C57BL/6として1948年にジャクソン研究所へ導入された系統のうち、一部が1951年にNIHへ導入され、C57BL/6Nへと派生した。その後、1984年のF126での凍結保存および1994～1997年の復元・凍結を経て2005年にC57BL/6NJとしてジャクソン研究所へ再導入された。		
特徴	黒毛の近交系マウスC57BL/6の中でもB6N系列の代表的な系統である。遺伝子改変マウスの背景系統として広く用いられており、全ゲノム情報がリファレンスゲノムとして公開されている。代表的な遺伝子変異として、網膜変性を引き起こす <i>Crb1^{rd6}</i> アレルを持つ。		

B6N-*Tyr*^{c-Brd} /BrdCrCrl

一般名：B6 Albino

IGS 適用系統

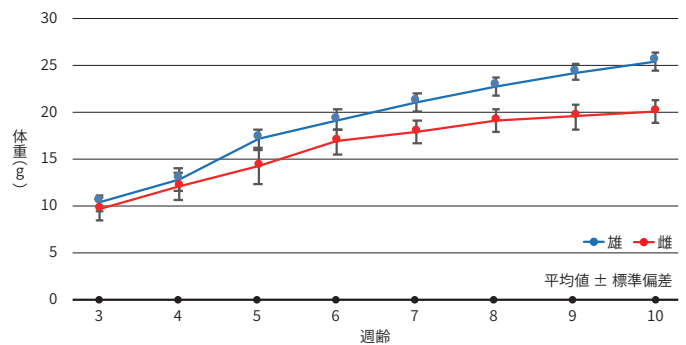


毛色	Albino	H2	b	規格	4 週齢～
由来	2000 年に Baylor 医科大学の Allan Bradley により NCI に導入された。2009 年に NCI からチャールス・リバー社へ導入された。				
特徴	C57BL/6NBrdCr においてチロシナーゼ遺伝子に自然突然変異が生じたことで得られた、コアイソジェニックなアルビノ系統である。				

BALB/cByJ

一般名：BALB/cByJ

JAX® Mice | GSP 適用系統 | Strain#: 001026

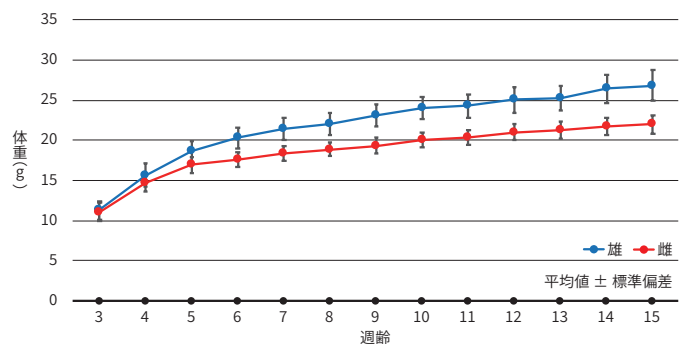


毛色	Albino	H2	d	規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE,S、PREG、LACT
由来	当初 Cold Spring Harbor で維持されていた Bagg's albino が 1932 年に BALB/c としてジャクソン研究所に導入された。その後 Andervont へ分与された系統が Bailey により F136 でジャクソン研究所へ再導入され、BALB/cByJ へと派生した。				
特徴	白毛の近交系マウス BALB/c の亜系統の 1 つ。比較的繁殖能力が高く攻撃性が低いという利点がある。胚操作に適した BALB/c 亜系統であり、新規モデル作製や遺伝子改変動物の背景系統としての使用に有用である。				

BALB/cJ

一般名：BALB/cJ

JAX® Mice | Stain#: 000651

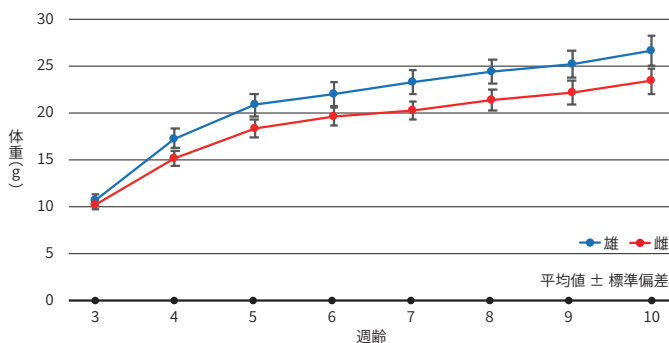


毛色	Albino	H2	d	規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE,S、PREG、LACT
由来	当初 Cold Spring Harbor で維持されていた Bagg's albino が 1932 年に BALB/c としてジャクソン研究所に導入された。その後 Scott へ分与された系統が 1947 年に F41 でジャクソン研究所に再導入され、BALB/cJ へと派生した。				
特徴	白毛の近交系マウス BALB/c の代表的な亜系統であり、全ゲノム情報がリファレンスゲノムとして公開されている。世界的に広く使用される BALB/c 亜系統だが、比較的高い攻撃性を持つ。				

C3H/HeNCrl

一般名：C3H

IGS 適用系統

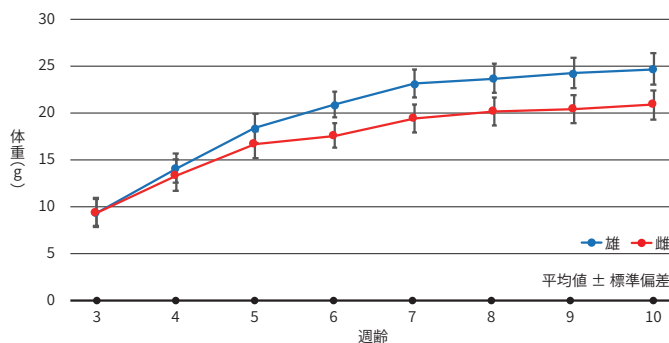


毛色	Agouti	H2	k
規格	3週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1920年 Strong により Bagg's albino 雌と DBA 雄の交配から作出された。1930年に Andervont に、その後 F35 で Heston へ導入され、1951年に F57 で NIH へ導入された。1974年に F102 でチャールス・リバー社に導入された。		
特徴	攻撃行動と多動性がみられる系統として知られている。また、学習・記憶課題に優れており、認知障害や認知機能の薬効評価に用いられる。		

CBA/J

一般名：CBA

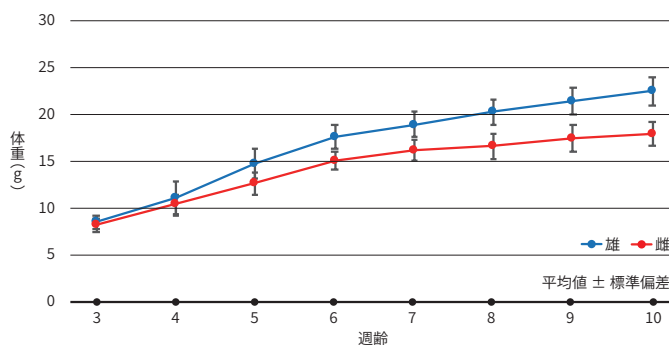
JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:000656



毛色	Agouti	H2	k
規格	3週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1920年 Strong による Bagg's albino 雌マウスと DBA の前身となる雄マウスとの交配を通して、CBA マウスが作出された。その後 1947年 Andervont に分与されたマウスが 1948年 ジャクソン研究所に導入され、以降同所で維持された系統が CBA/J である。		
特徴	代表的な CBA 系統であり、全ゲノム情報がリファレンスゲノムとして公開されている。CBA 系統の中では唯一網膜変性を起こす <i>Pde6brd</i> 変異を持ち、これにより離乳時までに失明する。		

DBA/1JNCrlj

一般名：DBA/1

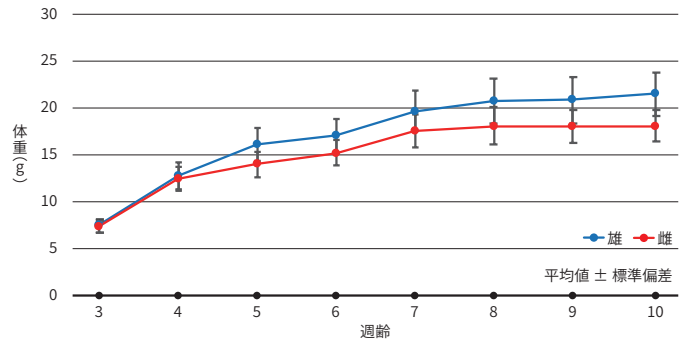


毛色	Dilute brown	H2	q
規格	3週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、LACT		
由来	1965年にジャクソン研究所から Hoffman を経て 1967年に NIH へ導入された。1988年にチャールス・リバー社を経て、F56で日本チャールス・リバーに導入された。		
特徴	コラーゲン誘導性関節炎の誘導が容易である。心臓に石灰沈着が見られ、経産雌個体では高確率で乳がんが発生する。		

DBA/2NCrl

一般名：DBA/2

IGS 適用系統

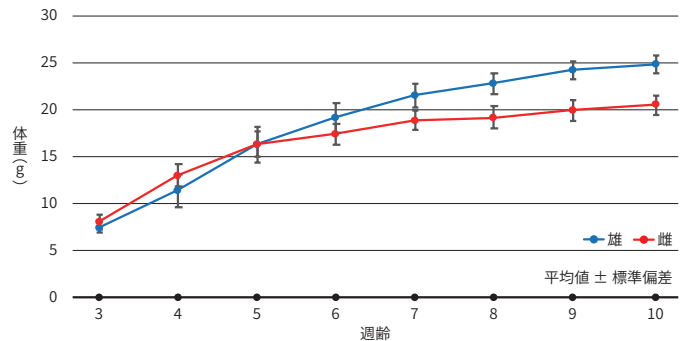


毛色	Dilute brown	H2	d
規格	3週齢～、RETIRE、RETIRE、S、PREG、LACT		
由来	1938年にジャクソン研究所から Mider を経て 1951年に F34 で NIH へ導入された後、1974年にチャールス・リバー社へ導入された。		
特徴	若齢で聴原性発作を発症しやすく、蝸牛や内耳の障害に関する研究に有用である。加齢性難聴の発症に關与する <i>Cdh23^{4H1}</i> アレルを持つ。心臓に石灰沈着が見られ、加齢とともに遺伝性緑内障様の眼異常を呈する。		

NC/NgaTndCrlj

一般名：NC

NC: Nishiki Cinnamon

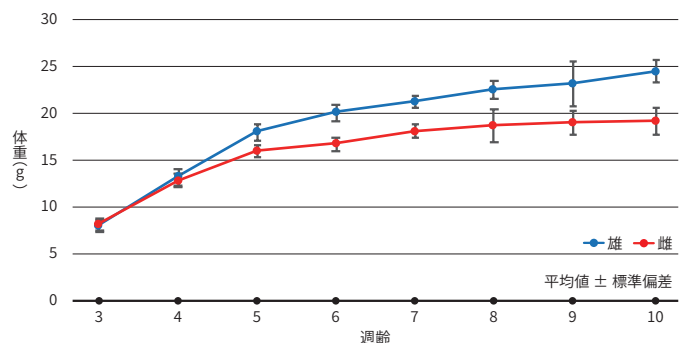


毛色	Cinnamon
規格	4週齢～ ご購入前に繁殖やその子孫の分与をしない旨の誓約書のご提出が必要です。
由来	1957年に名古屋大学農学部近藤教授により確立され、1997年に東京農工大学農学部より日本チャールス・リバーへ導入された。
特徴	ハプテンを連続塗布または市販ダニ抗原を耳介皮内投与することで、アトピー性様皮膚炎を誘発できる。

SJL/J

一般名：SJL

JAX®Mice | Strain#: 000686



毛色	Albino	H2	s2
規格	3週齢～、RETIRE、RETIRE、S、PREG (♂はファイティングを起こす傾向が強いため、個別飼育をお勧めいたします。)		
由来	1955年にジャクソン研究所の James Lambert によって、3系統の Swiss Webster マウスをもとに作出された。		
特徴	雄は非常に高い攻撃性を持つ。12か月齢までにホジキンリンパ腫様の細網細胞肉腫を高頻度で呈する。また、実験的自己免疫性脳脊髄炎 (EAE) モデルとして、多発性硬化症の研究に有用である。 <i>Dysferlin</i> 遺伝子変異を持つため、ミオパチーを呈し、肢体型筋ジストロフィー 2B のモデルとしても用いられる。		

Preconditioning Models マウス

C57BL/6J-Aged

一般名：B6J Aged

JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:000664



Preconditioning モデル

高月齢・老齢モデルマウス



毛色	Black
規格	26 ~ 104 週齢 (90 週以上希望の場合は要相談)。加齢性の外観異常 (脱毛、体・尾・耳の傷、目の異常等) を伴う動物も出荷対象。39 週齢以下の♀はファイティングを起こす傾向が強いため、納品輸送箱内にエンリッチメントを入れて出荷される。
由来	4 週齢時点で出荷体重基準をクリアした C57BL/6J を、104 週齢を上限に加齢した老齢モデルマウスである。
特徴	加齢に伴う被毛の白化、菲薄化、加齢性聴力低下などの表現型を呈する。特に雌個体では、バーバリングを起こしやすい。加齢に伴う表現型については、個体差や環境要因による影響が大きい点に留意する必要がある。

C57BL/6J-DIO

一般名：B6J DIO

JAX®Mice | GSP 適用系統 | DIO:Diet Induced Obesity (Strain#:380050)



Preconditioning モデル

高脂肪食負荷肥満モデルマウス



毛色	Black
規格	6 週齢～ (4 週齢から高脂肪食給餌) 高脂肪食を給餌しているため、外観や皮毛等に多少の光沢等が観察される。
由来	C57BL/6J マウスに Research Diets 社製の高脂肪飼料 D12492 (60Kcal%fat) もしくは D12451(45Kcal%fat) を 4 週齢から一定期間給餌することで、肥満を誘導したモデルマウスである。
特徴	ヒトの肥満や2型糖尿病の病態モデルとして有用である。肥満に加え、非空腹時・空腹時の高血糖、耐糖能異常、そして血中トリグリセリド、HDL、LDL、インスリン、レプチン、HbA1c などの上昇が認められる。

C57BL/6J-NASH

一般名：B6J NASH

JAX®Mice | GSP 適用系統 | NASH:Non-alcoholic steatohepatitis (Strain#:000664)



Preconditioning モデル

食餌誘導性 NASH モデルマウス

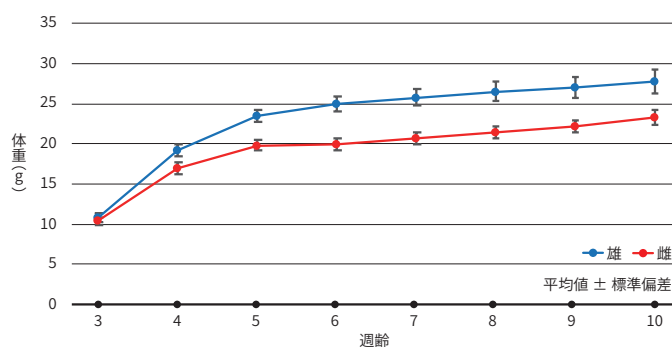
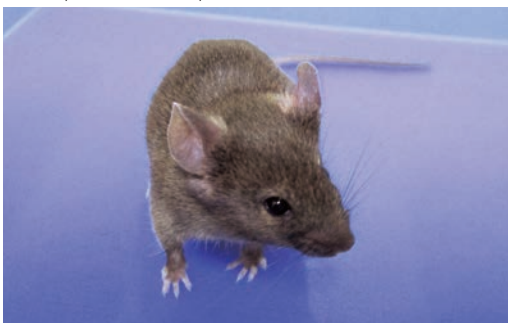


毛色	Black
規格	7 週齢～ (6 週齢から NASH 作製用飼料給餌) 高脂肪食を給餌しているため、外観や皮毛等に多少の光沢等が観察される。
由来	C57BL/6J マウスに Research Diets 社製の超高脂肪コリン欠乏メチオニン減量飼料 A06071302 (60Kcal % fat) を 6 週齢から一定期間給餌して非アルコール性脂肪性肝炎 (NASH) を誘発させたモデルマウス。飼料は、A06071309 (45Kcal%fat) または、D09100310(N) も使用可能。
特徴	NASH 飼料給餌開始 1 週間後から血漿中の ALT が増加し、3 週間後では 66%以上の肝臓組織において脂肪肝や肝葉の炎症がみられる。6 週間の給餌で線維化やヒドロキシプロリンの上昇がみられ、NASH 様の病態を呈す。体重減少はみられない。

B6C3F1/Crl

一般名：B6C3F1

(C57BL/6NCrl ♀ × C3H/HeNCrl ♂)

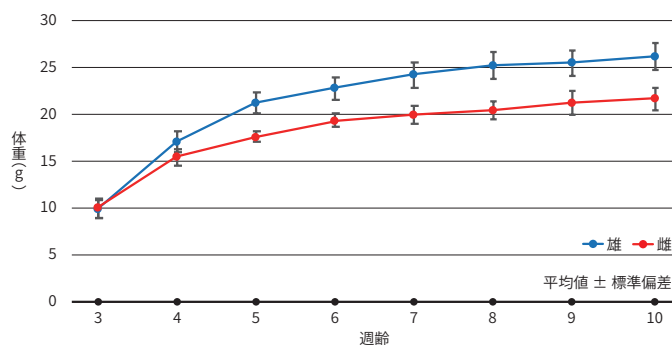
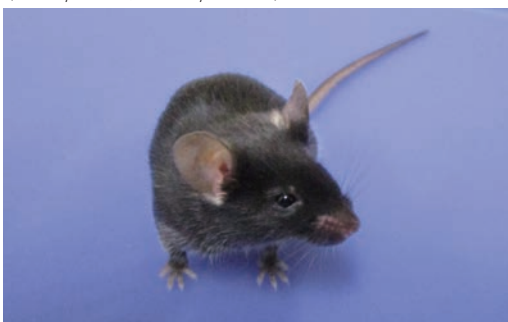


毛色	Agouti	H2	b/k	規格	3週齢～、LACT
由来	C57BL/6NCrl 雌と C3H/HeNCrl 雄を交配させて得られた、第一世代のハイブリッドマウスである。				
特徴	C57BL/6N 亜系統や C3H 亜系統からの細胞移植に適している。悪性固形腫瘍の自然発症率が低く、発がん性試験に適している。				

B6D2F1/Crl

一般名：B6D2F1

(C57BL/6NCrl ♀ × DBA/2NCrl ♂)



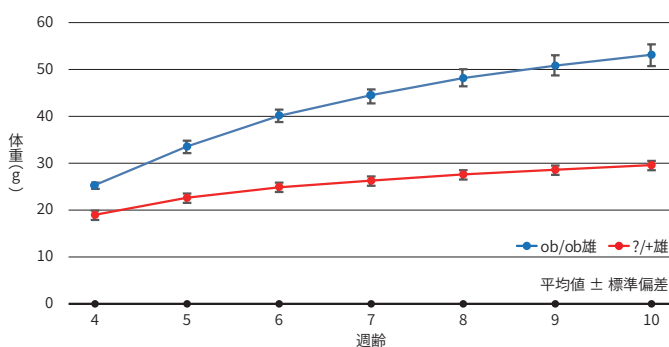
毛色	Black	H2	b/d	規格	3週齢～、LACT
由来	C57BL/6NCrl 雌と DBA/2NCrl 雄を交配させて得られた、第一世代のハイブリッドマウスである。				
特徴	C57BL/6N 亜系統や DBA/2 亜系統からの細胞移植に適している。胚操作に適しており、抗がん剤スクリーニングにも有用である。				

Disease Models (病態モデル) マウス

B6.Cg-*Lep^{ob}* /J

一般名 : ob

JAX®Mice | Strain#:000632

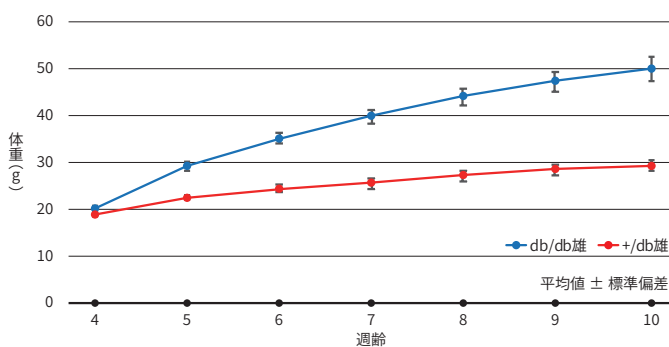


毛色	Black, obese 遺伝子型 (<i>Lep^{ob} / Lep^{ob}</i>) Black, lean 遺伝子型 (<i>+/+</i>)	H2	b
規格	5 週齢～ 温度変化や輸送ストレスに対する抵抗力が低く、衰弱・斃死する場合があります。		
由来	1949年にジャクソン研究所のV/le系統のコロニーにて自然突然変異 <i>ob</i> を持つ個体が見出された。その後、C57BL/6Jに45世代以上に戻し交配を行い作出された。		
特徴	病原遺伝子変異として <i>Lep^{ob}</i> アレルを持つ。 <i>Lep^{ob}</i> がホモの個体では4週齢ごろから明らかに肥満となることに加え、過食、高血糖症、グルコース不耐性、血漿インスリン上昇、低妊孕性、創傷治癒遅延、下垂体・副腎からのホルモン産生増加、低代謝、低体温がみられる。		

BKS.Cg-*Dock7^m* +/+ *Lepr^{db}* /J

一般名 : db

JAX®Mice | Strain#:000642



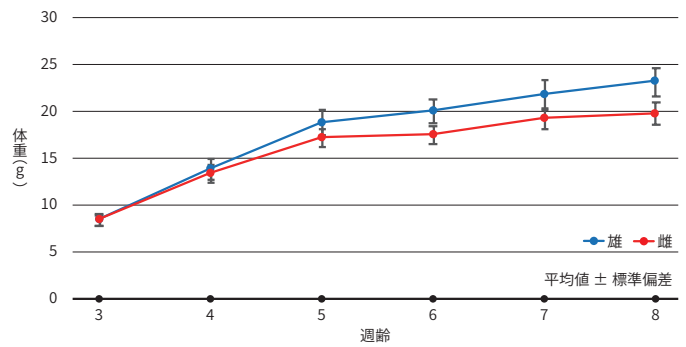
毛色	Black, obese 遺伝子型 (<i>+ Lepr^{db} / + Lepr^{db}</i>) Black, lean 遺伝子型 (<i>Dock7^m +/+ Lepr^{db}</i>) Misty (grey), lean 遺伝子型 (<i>Dock7^m +/ Dock7^m +</i>)	H2	d
規格	5 週齢～ 温度変化や輸送ストレスに対する抵抗力が低く、衰弱・斃死する場合があります。		
由来	1966年にジャクソン研究所のC57BLKS/J (BKS) 系統のコロニーにて常染色体潜性自然突然変異 <i>db</i> による糖尿病を持つ個体が見出され、これを毛色遺伝子 <i>misty</i> (<i>m</i>) を持つBKS系統に戻し交配することで作出された。		
特徴	病原遺伝子変異として <i>Lepr^{db}</i> アレルを持つ。 <i>Lepr^{db}</i> をホモで持つ個体は3-4週齢で明らかに肥満となり、10-14日齢で血漿インスリンの上昇、4-8週齢で血糖値の上昇がみられる。また、多食、多飲、多尿の症状がみられる。 <i>Lepr^{db}</i> をヘテロで持つ個体は体重、血漿インスリン、血糖値は正常だが、代謝効率が高く絶食してもコントロールより長く生存する。		

Immunodeficient Models (免疫不全モデル) マウス

CAnN.Cg-Foxn1^{nu} /CrlCrlj

一般名：BALB/c-nu

免疫不全動物

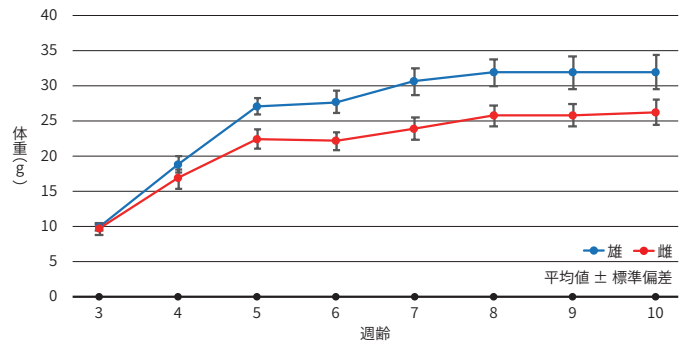


規格	♂ 4～5 週齢 ♀ 4～7 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。	H2	d
由来	1981年にチャールス・リバー社へ導入された BALB/cABomCr-nu/nu の nu 遺伝子を BALB/cAnNCrl に導入し作出したマウスに由来し、1987年にチャールス・リバー社から日本チャールス・リバーに導入された。		
特徴	ホモ (nu/nu) では胸腺の欠損により成熟 T 細胞が形成されず、免疫不全を呈す。ヒト癌細胞の移植やモノクローナル抗体の作製に有用である。		

Crlj:CD1-Foxn1^{nu}

一般名：ICR-nu

免疫不全動物

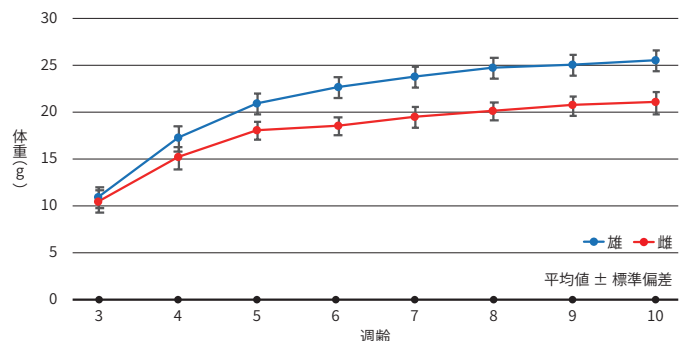


規格	♂ 4～5 週齢 ♀ 4～7 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
由来	チャールス・リバー社が Crl:NU-Foxn1 ^{nu} 由来の nu 遺伝子を ICR に導入し作出したマウスに由来し、1981年に日本チャールス・リバーに導入された。
特徴	ホモ (nu/nu) では胸腺の欠損により成熟 T 細胞が形成されず、免疫不全を呈す。Outbred 系統のため比較的体が大きく丈夫である。ヒト癌細胞の移植やモノクローナル抗体の作製に有用である。

CB17/lcr-Prkdc^{scid} /CrlCrlj

一般名：C.B-17 SCID

免疫不全動物

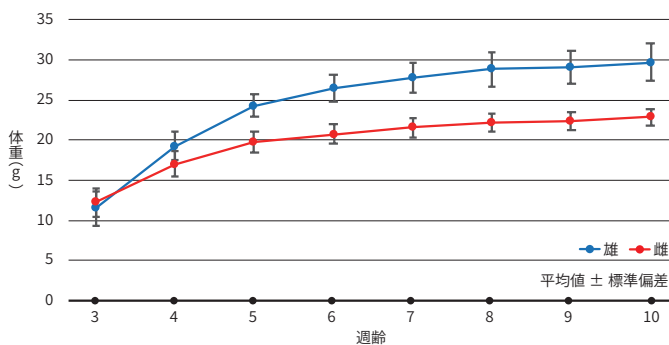


毛色	Albino	H2	d
規格	4～8 週齢 このマウスは、Fox Chase Cancer Center との契約によりご購入前に繁殖やその子孫の分与をしない旨の誓約書のご提出が必要です。 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。		
由来	1980年 Institute of Cancer Research にて Bosma らにより C.BKa-Igh ^b /lcr (C.B-17) コロニー中に scid 変異をもつマウスが見いだされた。これが Iffa Credo foundation colony を経て 1991年にチャールス・リバー社へ導入され、C.B-17/lcr-Prkdc ^{scid} /lcrCrlCrl へと派生した。1992年に日本チャールス・リバーに導入された。		
特徴	常染色体劣性突然変異である Prkdc ^{scid} アレルを持つ。V(D)J 遺伝子再構成異常により、機能的な T 細胞及び B 細胞が欠失し、重度複合免疫不全を呈す。液性免疫と細胞性免疫の両方が損なわれており、血清中に免疫グロブリンはほとんど見出されない。同種異系統移植に加え、ヒト癌細胞を含む異種移植に有用である。		

Crlj:SHO-Prkdc^{scid}Hr^{hr}

一般名：SHO

免疫不全動物

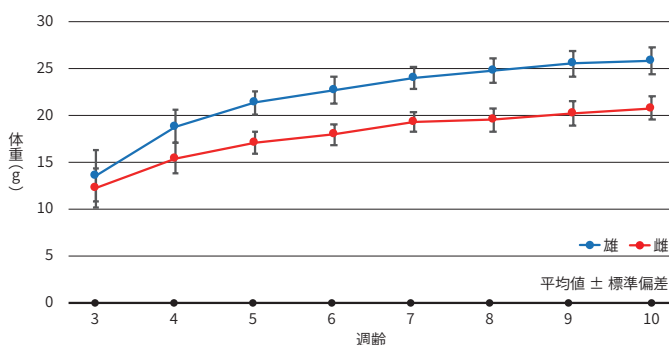


毛色	Prkdc ^{scid} 突然変異遺伝子により末梢血中の B 細胞および T 細胞が機能不全を呈する。Hairless のため、腫瘍細胞の移植が容易 (担がんモデル作製が容易)。	規格	♂ 4 ~ 5 週齢 ♀ 4 ~ 8 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
由来	2007 年チャールス・リバー社にて Crl:HA-Prkdc ^{scid} と Crl:SKH1-Hr ^{hr} の交配により作出された、Prkdc ^{scid} アレルに加え Hr ^{hr} アレルをホモで持つ系統である。2010 年に日本チャールス・リバーに導入された。		
特徴	scid 変異と hairless 変異を併せ持つ Outbred 系統である。scid 変異を持つ他系統と同等の腫瘍生着を呈すが、無毛のため、腫瘍細胞などの皮下移植後の観察やモニタリングが容易である。		

CB17.Cg-Prkdc^{scid}Lyst^{bg-J} | CrlCrlj

一般名：SCID Beige

免疫不全動物

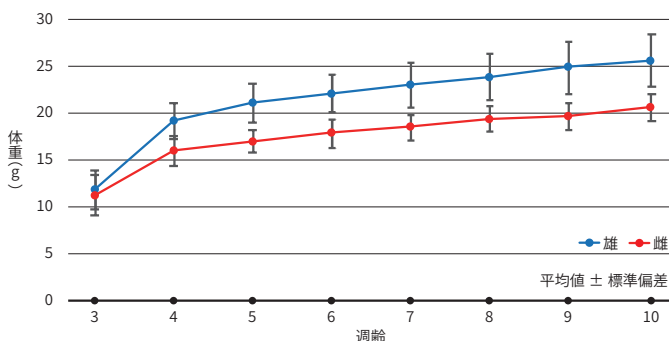


毛色	Albino	H2	d	規格	4 週齢 ~ ※その他の週齢をご希望の場合は、お問合せください。
由来	Guelph 大学の Croy らにより C57BL/6 bg/bg を CB17-Scid へ戻し交配することで作出された系統であり、1993 年にチャールス・リバー社に導入された。2013 年に日本チャールス・リバーに導入された。				
特徴	いずれも常染色体劣性突然変異である scid 変異 (Prkdc ^{scid}) と beige 変異 (Lyst ^{bg}) を併せ持つ重複免疫不全系統である。scid 変異に起因する機能的な T 細胞・B 細胞の欠損に加えて、beige 変異に起因する NK 細胞の機能不全を併せ持つ。同種異系統移植に加え、ヒト癌細胞を含む異種移植に有用である。				

NOD.Cg-Prkdc^{scid} | J

一般名：NOD SCID

免疫不全動物 | JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:001303

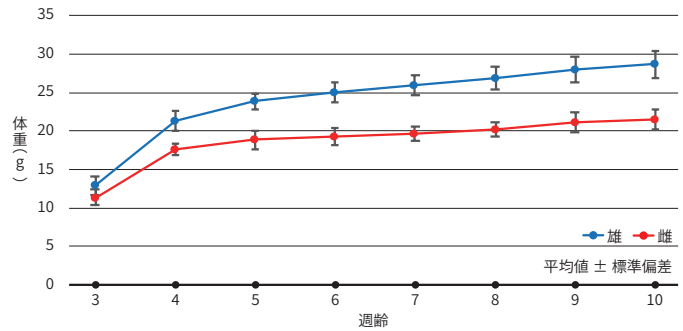


毛色	Albino	H2	g7	規格	4 ~ 8 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問合せください。
由来	1980 年 Institute of Cancer Research にて Bosma らにより C.BkA-Igh ^b /lcr (C.B-17) コロニー中に scid 変異をもつマウスが見いだされた。この Prkdc ^{scid} アレルを持つマウスが NOD/ShiLtSz 背景へと 10 世代戻し交配され、その後の兄妹交配による Prkdc ^{scid} アレルのホモ固定により NOD.Cg-Prkdc ^{scid} J が作成された。				
特徴	scid 変異により機能的な T 細胞および B 細胞が欠失し、補体活性も認められず、低い NK 細胞活性を持つ。これにより、液性免疫・細胞性免疫を含む広汎な重度免疫不全を呈する。胸腺腫を発症しやすいため、寿命は約 8.5 ヶ月と比較的短い。				

NOD.Cg-Prkdc^{scid} Il2rg^{tm1Wjl} /SzJ

一般名：NSG

免疫不全動物 / 遺伝子改変動物 | JAX®Mice | GSP 適用系統 | Strain#:005557

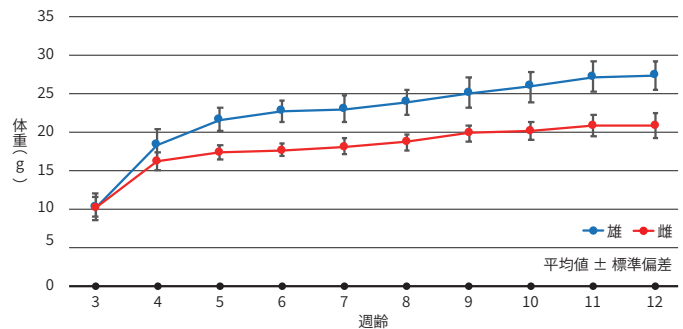


毛色	Albino	H2	g7	規格	4 ~ 8 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
由来	NOD.Cg-Prkdc ^{scid} /J (#001303) 雌と X 連鎖の変異アレルを持つ B6.129S4-Il2rg ^{tm1Wjl} /J (#003174) 雄との交配により得られた産仔を NOD.Cg-Prkdc ^{scid} /J 雌へ 8 世代戻し交配した。得られた個体同士の交配により、NOD を背景に Prkdc ^{scid} をホモ、Il2rg ^{tm1Wjl} をホモ (雌) もしくはヘミ (雄) で持つ NSG マウスが確立された。				
特徴	Scid 変異により機能的な T 細胞および B 細胞が欠失し、補体活性も認められない。Il2rg 欠損変異による機能的な NK 細胞の欠如に加え、サイトカインシグナル伝達系が損なわれることで、液性免疫・細胞性免疫を含む広汎な重度免疫不全を呈する。胸腺腫を発症しないため NOD SCID マウスよりも長寿命である。				
注意	<ul style="list-style-type: none"> 動物の搬入に際し、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律 (カルタヘナ法)」に基づき、以下の事項が求められます。 弊社から遺伝子組換え生物の受け渡しに関する情報提供書を送付します。正式注文に先立ち、お客様の研究施設内におけるカルタヘナ法にもとづく機関内承認をお願いいたします。 正式発注前に、お客様の施設内の機関内承認手続きを得られていない場合は、動物を納品できなくなりますので、ご注意をお願いいたします。 営利機関および営利目的に本系統を使用する場合には、ジャクソン研究所との「JAX Leap Fee Per Mouse Agreement」の締結が必要になります。 				

NOD.Cg-Prkdc^{scid} H2-K1^{b-tm1Bpe} H2-Ab1^{g7-em1Mvw} H2-D1^{b-tm1Bpe} Il2rg^{tm1Wjl} /SzJ

一般名：NSG-MHC I/II DKO

免疫不全動物 / 遺伝子改変動物 | JAX®Mice | Strain#:025216



毛色	Albino	H2	null	規格	4 ~ 8 週齢 ※その他の週齢をご希望の場合は、お問い合わせください。
由来	パスツール研究所で作出されたマウス MHC クラス I 遺伝子 (H2-K1 および H2-D1) 欠損変異が 2001 年以降ジャクソン研究所にて NSG 背景へと移され、さらに MHC クラス II 遺伝子 (H2-Ab1) 欠損変異が TALEN により導入され、本系統が作出された。				
特徴	ヒト末梢血単核球 (PBMC) 移植後の移植片対宿主病 (GvHD) の発症が大幅に遅れる。そのため、本系統はヒト PBMC 移植による免疫系ヒト化マウスの作出、および抗体医薬品やがん免疫療法等のマウス生体内での評価に有用である。				
注意	<ul style="list-style-type: none"> 動物の搬入に際し、「遺伝子組換え生物等の使用等の規制による生物の多様性の確保に関する法律 (カルタヘナ法)」に基づき、以下の事項が求められます。 弊社から遺伝子組換え生物の受け渡しに関する情報提供書を送付します。正式注文に先立ち、お客様の研究施設内におけるカルタヘナ法にもとづく機関内承認をお願いいたします。 正式発注前に、お客様の施設内の機関内承認手続きを得られていない場合は、動物を納品できなくなりますので、ご注意をお願いいたします。 営利機関および営利目的に本系統を使用する場合には、ジャクソン研究所との「JAX Leap Fee Per Mouse Agreement」の締結が必要になります。 				

Immunodeficient Models (免疫不全モデル) マウス一覧

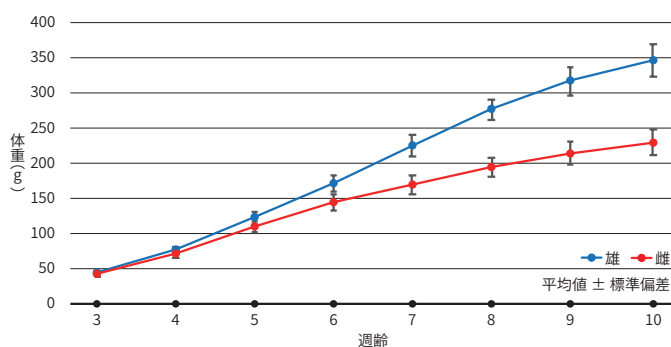
一般名	系統名	Genetics	背景系統	被毛	T 細胞	B 細胞	NK 細胞	補体	Page
BALB/c-nu	CAnN.Cg-Foxn1 ^{nu} /CrlCrlj	Inbred	BALB/c	-	-	+	+	+	15
		自然発生突然変異							
ICR-nu	Crlj:CD1-Foxn1 ^{nu}	Outbred	ICR	-	-	+	+	+	15
		自然発生突然変異							
C.B-17 SCID	CB17/Icr-Prkdc ^{scid} /CrlCrlj	Inbred	CB17	+	-	-	+	+	15
		自然発生突然変異							
SHO	Crlj:SHO-Prkdc ^{scid} Hr ^{hr}	Outbred	Mixed Stock	-	-	-	+	+	16
		自然発生突然変異							
SCID Beige	CB17.Cg-Prkdc ^{scid} Lyst ^{bg-J} /CrlCrlj	Inbred	CB17	+	-	-	Impaired	+	16
		自然発生突然変異							
NOD SCID	NOD.Cg-Prkdc ^{scid} /J	Inbred	NOD	+	-	-	Impaired	-	16
		自然発生突然変異							
NSG	NOD.Cg-Prkdc ^{scid} Il2rg ^{tm1Wjl} /SzJ	Inbred	NOD	+	-	-	-	-	17
		遺伝子改変							
NSG-MHC I/II DKO	NOD.Cg-Prkdc ^{scid} H2-K1 ^{b-tm1Bpe} H2-Ab1 ^{g7-em1Mvw} H2-D1 ^{b-tm1Bpe} Il2rg ^{tm1Wjl} /SzJ	Inbred	NOD	+	-	-	-	-	17
		遺伝子改変							

Outbred ラット

Crl:CD(SD)

一般名：CD(SD)

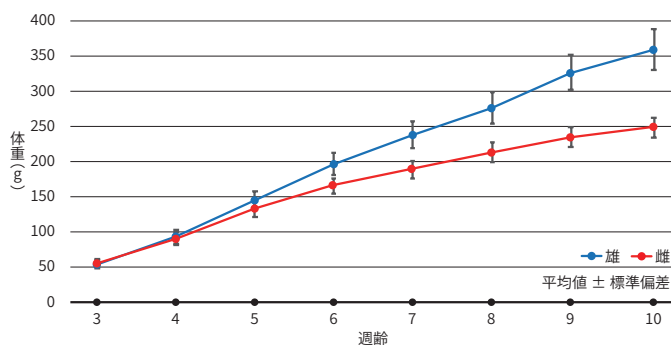
IGS 適用系統 | CD:Caesarean Derived



毛色	Albino
規格	3週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT
由来	代表的な Outbred 系統。1925 年 Robert W. Dawley により頭巾班を持つ雑種雄と Wister 雌との交配により確立され、1950 年に Sprague Dawley 社からチャールス・リバー社に導入され、1991 年に世界各国のチャールス・リバー生産施設の従来 CD(SD) コロニーから選抜された親種をもとに、IGS Foundation コロニーが構築された。IGS プログラム適用系統。

Crlj:WI

一般名：Wistar

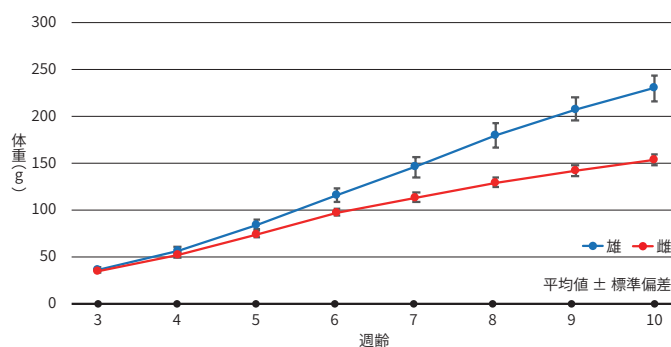


毛色	Albino
規格	3週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT
由来	1947 年に Wistar Institute より Scientific Products Farm 社 (チャールス・リバー社の前身) へ導入され、1975 年にチャールス・リバー社に移された。

BN/CrlCrlj

一般名：BN

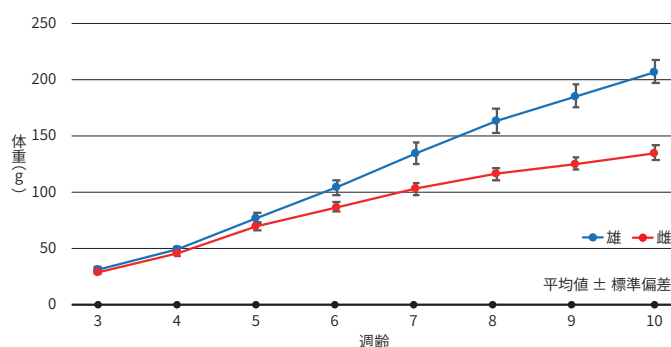
BN: Brown Norway



毛色	Non-agouti brown	RT1	n
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE、S、PREG、T、PREG、LACT		
由来	1976年に Radiobiology Institute (オランダ) よりチャールス・リバー社へ導入され、1990年に日本チャールス・リバーへ導入された。		

F344/DuCrlCrlj

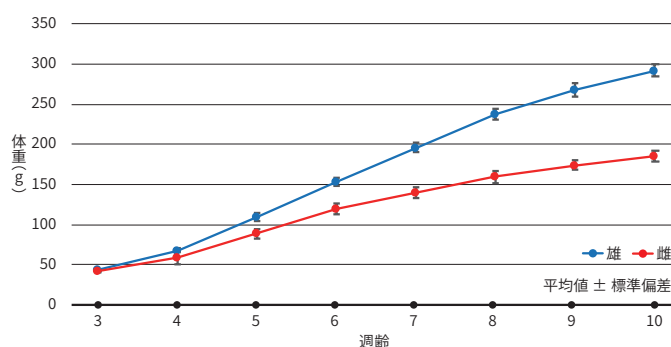
一般名：F344



毛色	Albino	RT1	ℓ
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE、S、PREG、T、PREG、LACT		
由来	1920年 Curtis より Dunning へ導入し、1960年に F68 でチャールス・リバー社へ導入され、1976年 F110 で日本チャールス・リバーへ導入された。		

LEW/CrlCrlj

一般名：LEW

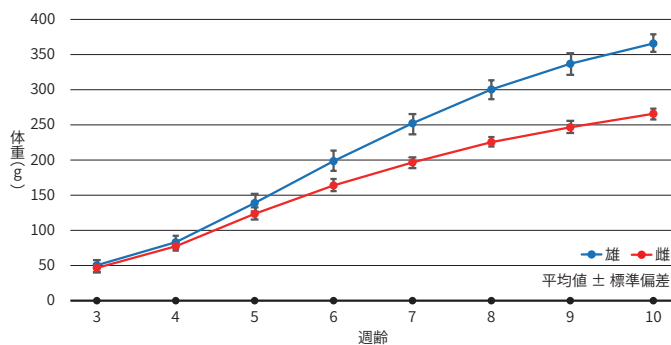


毛色	Albino	RT1	ℓ
規格	3 週齢～、RETIRE、RETIRE、S、PREG、T、PREG、LACT		
由来	1950年代初期に Lewis により開発された。1970年に F34で テュレーン大学からチャールス・リバー社へ導入され、SPF 化後、1981年に F49で日本チャールス・リバーへ導入された。		

PCK/CrljCrl-Pkhd1^{pck}/CrlCrlj

一般名：PCK

PCK: Polycystic Kidney

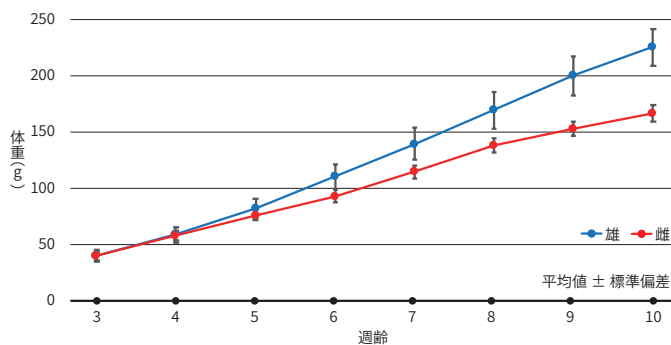


毛色	Albino
規格	4週齢～
由来	腎に多発性嚢胞が生じる系統として、日本チャールス・リバーのCDラット生産コロニーから発見された。2000年に藤田医科大学にてヒトの常染色体劣性多発性嚢胞腎症 (ARPKD) に関連する常染色体劣性遺伝子変異として <i>Pkhd1^{pck}</i> が同定された。2006年にチャールス・リバー社に導入され、2013年に日本チャールス・リバーへ導入された。

WKY/NCrlCrlj

一般名：WKY

WKY: Wister Kyoto



毛色	Albino	RT1	ℓ
規格	3週齢～、RETIRE、RETIRE, S、PREG、T、PREG、LACT		
由来	京都大学で維持されていた Outbred Wistar に由来する。1971年 NIH にて兄妹交配を開始し、1974年に F11 にてチャールス・リバー社で SPF 化後、1981年に F25 で日本チャールス・リバーへ導入された。		

系統別出荷体重基準表

マウス

(単位：g)

系統名	性別	3週齢	4週齢	5週齢	6週齢	7週齢	8週齢	9週齢	10週齢
Crl:CD1(ICR) (ICR) (Outbred Mice)	オス	8-15	15-25	23-33	25-37	26-39	28-41	—	—
	出荷体重幅(オス)	4	4	5	6	7	8		
	メス	7-14	14-23	19-28	20-29	21-32	23-34	—	—
	出荷体重幅(メス)	4	4	5	5	5	6	—	—
C57BL/6J (B6J) (Inbred Mice)	オス	7-14	11-18	16-23	18-25	20-27	21-28	—	—
	メス	7-14	10-17	13-20	14-21	15-22	16-23	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
C57BL/6NJ (B6NJ) (Inbred Mice)	オス	8-13	13-18	17-22	19-24	20-25	21-26	—	—
	メス	7-12	11-16	14-19	15-20	16-21	17-22	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注) B6N-Tyr ^{c-Brd} /BrdCrCrl (B6 Albino) (Inbred Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
BALB/cByJ (BALB/cByJ) (Inbred Mice)	オス	8-13	11-16	15-20	17-22	18-23	20-25	—	—
	メス	8-13	10-15	12-17	14-19	15-20	16-21	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
BALB/cJ (BALB/cJ) (Inbred Mice)	オス	8-13	13-18	17-22	18-23	19-24	20-25	—	—
	メス	8-13	11-16	13-18	14-19	15-20	16-21	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
C3H/HeNCrl (C3H) (Inbred Mice)	オス	8-13	13-18	17-22	18-23	19-24	20-25	—	—
	メス	8-13	12-17	15-20	16-21	17-22	18-23	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
CBA/J (CBA/J) (Inbred Mice)	オス	9-14	14-19	19-24	21-26	22-27	24-29	—	—
	メス	9-14	14-19	16-21	17-22	18-23	19-24	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
DBA/1JNCrlj (DBA/1) (Inbred Mice)	オス	7-12	9-14	12-17	15-20	16-21	18-23	—	—
	メス	6-11	8-13	10-15	12-17	13-18	14-19	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
DBA/2NCrl (DBA/2) (Inbred Mice)	オス	7-12	10-15	14-19	15-20	17-22	18-23	—	—
	メス	7-12	10-15	12-17	13-18	14-19	15-20	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注) NC/NgaTndCrlj (NC) (Inbred Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
SJL/J (SJL) (Inbred Mice)	オス	6-13	11-18	15-22	16-23	17-24	18-25	—	—
	メス	5-12	10-17	13-20	14-21	15-22	15-22	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注) C57BL/6J-DIO (B6J DIO) (Preconditional Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—

注)：体重のご指定を承ることができかねます。また、ラベルに体重は表示されません。

マウス

(単位：g)

	系統名	性別	3週齢	4週齢	5週齢	6週齢	7週齢	8週齢	9週齢	10週齢
注)	C57BL/6J-NASH (B6J NASH) (Preconditional Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
	B6C3F1/Crl (B6C3F1) (Hybrid Mice)	オス	9-15	14-21	17-25	19-26	20-27	22-29	—	—
		メス	9-15	13-20	15-22	16-23	17-24	18-25	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
	B6D2F1/Crl (BDF1) (Hybrid Mice)	オス	8-13	14-19	19-24	20-25	22-27	23-28	—	—
		メス	8-13	13-18	15-20	16-21	17-22	18-23	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	B6.Cg- <i>Lep</i> ^{ob} /J (ob) (Inbred Mice, Disease Models)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	BKS.Cg- <i>Dock7</i> ^{m+} /+ <i>Lepr</i> ^{db} /J (db) (Inbred Mice, Disease Models)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
	CAAn.Cg- <i>Foxn1</i> ^{nu} /CrlCrlj (BALB/c-nu) (Immunodeficient Mice)	オス	7-14	11-18	15-22	16-23	18-25	18-25	—	—
		メス	7-14	9-17	11-19	14-22	15-23	16-24	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
	Crlj:CD1- <i>Foxn1</i> ^{nu} (ICR-nu) (Immunodeficient Mice)	オス	7-12	18-25	22-30	24-31	24-33	24-35	—	—
		メス	7-12	14-22	18-25	20-26	20-28	20-30	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	CB17/Icr- <i>Prkdc</i> ^{scid} /CrlCrlj (C.B-17 SCID) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	Crlj:SHO- <i>Prkdc</i> ^{scid} <i>Hr</i> ^{hr} (SHO) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	CB17.Cg- <i>Prkdc</i> ^{scid} <i>Lyst</i> ^{bg-J} /CrlCrlj (SCID Beige) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	NOD.Cg- <i>Prkdc</i> ^{scid} /J (NOD SCID) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	NOD.Cg- <i>Prkdc</i> ^{scid} <i>Il2rg</i> ^{tm1Wjl} /SzJ (NSG) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注)	NOD.Cg- <i>Prkdc</i> ^{scid} <i>H2-K1</i> ^{b-tm1Bpe} <i>H2-Ab1</i> ^{g7-em1Mvw} <i>H2-D1</i> ^{b-tm1Bpe} <i>Il2rg</i> ^{tm1Wjl} /SzJ (NSG-MHCI/II DKO) (Immunodeficient Mice)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
		メス	—	—	—	—	—	—	—	—
		出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—

注)：体重のご指定を承ることができかねます。また、ラベルに体重は表示されません。

ラット

(単位：g)

系統名	性別	3週齢	4週齢	5週齢	6週齢	7週齢	8週齢	9週齢	10週齢
Crl:CD(SD) [CD(SD)] (Outbred Rats)	オス	35-55	50-110	100-160	140-220	190-270	240-330	270-360	310-390
	メス	35-55	50-110	80-130	120-190	140-210	160-230	180-240	200-260
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
Crlj:WI (Wistar) (Outbred Rats)	オス	35-55	60-100	100-160	150-220	200-280	250-340	290-380	310-410
	メス	35-55	60-100	90-140	130-180	155-205	170-240	180-250	200-270
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
BN/CrlCrlj (BN) (Inbred Rats)	オス	30-55	45-80	70-110	95-140	125-175	155-205	180-240	200-270
	メス	25-50	40-70	65-95	85-115	100-140	115-160	125-170	130-180
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
F344/DuCrlCrlj (F344) (Inbred Rats)	オス	25-45	35-75	65-110	95-140	125-175	150-210	180-240	195-255
	メス	20-40	35-70	60-100	80-120	95-135	110-150	115-155	120-170
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
LEW/CrlCrlj (LEW) (Inbred Rats)	オス	30-50	50-90	90-140	130-180	160-220	190-260	200-290	210-310
	メス	30-50	50-80	80-120	110-150	130-160	140-180	150-190	160-210
	出荷体重幅	10	10	20	20	30	30	40	50
注) PCK/CrljCrl- <i>Pkhd1^{Pck}</i> /CrlCrlj (PCK) (Inbred Rats)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—
注) WKY/NCrlCrlj (WKY) (Inbred Rats)	オス	—	—	—	—	—	—	—	—
	メス	—	—	—	—	—	—	—	—
	出荷体重幅	—	—	—	—	—	—	—	—

注)：体重のご指定を承ることができかねます。また、ラベルに体重は表示されません。

その他商材

手術動物（カニューレーション動物の作製 / 外科的処置によるモデル動物の作製、マウス / ラット）

安全性試験、薬物動態試験向けのカニューレーション動物作製

Jugular Vein Cannulation

頸静脈カニューレーション

右総頸静脈からカテーテルを留置。採血用として使用。7～20日間程度の採血が可能。

※カテーテルの設計、試験条件等により使用期間が変わります。

Portal Vein Cannulation

門脈カニューレーション

門脈に対し垂直にカテーテルを留置。腸管吸収・肝臓への投与経路として使用され、20日間程度の採血が可能。

Bile Duct Cannulation

胆管カニューレーション

肝臓側の胆管に挿入したカテーテルを体外に露出し、胆汁排泄をせず、カテーテル先端を十二指腸側の胆管に戻す胆管バイパス手術を実施。無麻酔下での胆汁排泄試験、十二指腸への胆汁・薬剤投与が可能。

Femoral Vein and Artery Cannulation

大腿静脈・動脈カニューレーション

股部大腿動静脈より、カテーテルを挿入し、カテーテル先端は腎動静脈付近に位置するように留置。静脈は薬剤の投与経路（反復投与試験等）、動脈は採血および観血式血圧測定等に使用。

※試験用途、試験期間により使用期間が変わります。

Double Cannulation

ダブルカニューレーション

- 頸静脈 + 門脈カニューレーション
- 頸静脈 + 胆管カニューレーション
- 頸静脈 + 大腿静脈カニューレーション
- 側脳室 + 大腿静脈カニューレーション
- 胆管 + 大腿静脈カニューレーション、他

その他 特殊投与用等のカニューレーション動物作製

Lateral /3rd Ventricular Cannulation

側脳室・第三脳室カニューレーション

脳定位固定装置に動物を固定し、頭蓋骨の Bregma を基点に、座標に従いガイドの挿入位置を決定。アンカービス、歯科用セメント等にてガイドを固定。中枢への薬物投与、Micro dialysis にも使用が可能。

Intrathecal Cannulation

髄腔内カニューレーション

脳定位固定装置に固定し、後頭骨と第一頸椎間より髄膜を穿孔し、カテーテルを髄腔内へ留置。

Gastric /Duodenum Cannulation

胃・十二指腸カニューレーション

腹部切開後、胃（噴門部・幽門部）にカテーテル挿管部を切開し、巾着縫合によりカテーテルを挿管固定。

Colon Cannulation

大腸カニューレーション

腹部切開後、盲腸結腸側にカテーテル挿管部を切開し、巾着縫合によりカテーテルを挿管固定。

Bladder Cannulation

膀胱カニューレーション

膀胱にカテーテルを挿入し、巾着縫合によりカテーテルを固定。膀胱内圧試験に使用。

その他 外科的処置によるモデル動物の作製

下垂体摘出・甲状腺副甲状腺摘出・副腎摘出・5/6 腎臓摘出・卵巣摘出・精巣摘出・精管切除・半月板摘出

生体試料（血液 / 臓器 / 各種生体試料等）

国内生産実験動物（マウス / ラット）から採取した生体試料に加えて、ウサギ / ビーグル / サルの生体試料も注文することができます。動物実験の承認手続きから採材、試験までの作業を省略でき、時間、労力、飼育スペース、使用動物数の削減にもつながります。

血液試料

血漿・血清・全血・IC血清

ご希望の部位からの採血が可能です。
静脈、動脈、心臓

抗凝固剤

ご希望の抗凝固剤を指定していただけます。
ヘパリン Na、ヘパリン Li、EDTA-2Na、EDTA-2K、EDTA-3K、
3.8% クエン酸 Na 等

臓器・組織

脳、肝臓、腎臓、眼球、皮膚、 被毛、尿、糞、骨格、筋肉、 脳脊髄液等

ご希望の臓器・組織の採取が可能です。

試料採取後の処置

ご希望の処置等 ご相談を承ります。
灌流、ホモジナイズ等

ブタ皮膚（Yucatan Micro Pig Skin set） ユカタン マイクロピッグ スキンセット

米国シンクレア社（Sinclair Bio Resources, LCC）より Yucatan Micro Pig Skin set を輸入し販売しています。Yucatan Micro Pig はヒト皮膚組織構造に近く体毛が少ないことから、医薬品の製剤研究や化学品の皮膚科学研究等に広く使用されています。

摘出皮膚・仕様

品名	Yucatan Micro Pig Skin set
品質	家畜法定伝染病に罹患していない健康な個体から採取
月齢	5か月齢
サイズ	1枚あたり約10cm×10cm (採取時)
内容	表皮・真皮・皮下脂肪
数量	1頭(16枚)もしくは1/2頭(8枚、右または左半身)
保存	-80℃、ドライアイス包装および冷凍庫

製品 / サービスのご利用にあたって

弊社の製品 / サービスのご利用にあたっては、ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社、ジャクソン研究所およびチャールス・リバー社の取引条件が適用されます。

各販売条件は以下の URL より
WEB サイトでご確認ください

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパン株式会社

一般条件 (General Terms and Conditions)

https://www.jax.or.jp/product-and-service/general_terms_and_conditions

ジャクソン研究所

一般条件 (GENERAL TERMS AND CONDITIONS) :

<https://www.jax.org/about-us/legal-information/terms-and-conditions-of-product-use>

チャールス・リバー社

一般販売条件 (General Terms & Conditions of Sale) :

<https://www.criver.com/general-terms-conditions-sale>

販売代理店

オリエンタル酵母工業株式会社

ご注文

RS 物流センター
TEL : 043-301-2201
FAX : 043-244-6234
E-mail : oyc-tbo@nisshin.com

お問い合わせ

東日本バイオ営業部
TEL : 03-3968-1163
FAX : 03-3968-1196
E-mail : ejb-sales@nisshin.com

お問い合わせ

西日本バイオ営業部
TEL : 06-6338-1095
FAX : 06-6384-7692
E-mail : bioosaka@nisshin.com

株式会社ケービーティーオリエンタル

お問い合わせ・ご注文

TEL : 0942-81-2400
FAX : 0942-81-2401
E-mail : kbto-01@nisshin.com

弊社サイエンティフィックサポート部門では、マウス遺伝学やマウスモデルに関する専門知識を持つ科学者 (Technical information scientist) が お客様のニーズに合わせた情報や技術的なサポートを提供いたします。モデルマウスに関するご質問やご相談、国内外で提供しております受託試験や実験リソースについての技術的なお問い合わせは、micetech@jax.or.jpまでご連絡ください。



micetech@jax.or.jp

サポート事例:

◇ マウスモデルに関する知識サポート

マウスモデルに関する科学的なご質問への回答や、技術的な課題に対する解決策の提案をさせていただきます。また、皆さまの研究目的・実験に合わせた最適なマウスモデルを選ぶお手伝いをいたします。

◇ 実験サービスに関する技術的なお問い合わせ対応

ヒト化マウスや PDXモデルをはじめとした、国内外から提供する実験サービスや受託試験に関する技術的なご相談やお問い合わせに対応いたします。

◇ データベースの活用方法のご案内

マウスモデルのデータベースやオンラインリソースの活用方法について、分かりやすくご案内します。これにより、効率的なデータ検索や情報の活用をサポートいたします。



JAX Mouse Search



Mouse Genome Informatics



Mouse Phenome Database

JAX in Japan 公式Xのご案内

[@JAX_Japan](#)



[@JAX_Japan](#)

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンの公式Xアカウントを開始しました。JAXの高品質なマウスモデルや研究ツールを日本の研究者の皆さまに提供し、創薬医学研究をサポートしてまいります。最新研究、マウスモデル、イベントやキャンペーンの研究支援情報を発信しています。ぜひフォローしてチェックしてください。

メールニュースのご案内

JAX IN JAPAN NEWS AND INSIGHTS



<https://go.jax.or.jp/eBlast>

ジャクソン・ラボラトリー・ジャパンの最新情報をお届けするメールニュースはこちらからご登録いただけます。

